

令和6年度 京都市予算案 事業概要

総合企画局

事務事業名	次期総合計画の策定に向けた取組		
予算額	26,000 千円	新規・充実・継続の別	新規
担当課	都市経営戦略室(222-3030)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>京都市では、あらゆる政策の最上位の都市理念である「世界文化自由都市宣言」の下で、市政の基本方針である「京都市基本構想」と、これを具体化した「京都市基本計画・各区基本計画」を策定し、全市的な観点から政策・施策を総合的に推進している（別紙「京都市の総合計画の体系」参照）。</p> <p>これらのうち、「京都市基本構想」及び第3期の基本計画である「はばたけ未来へ！京プラン2025」、各区基本計画が令和7年12月に終期を迎えることから、令和5年度は、各種統計データの分析、市民アンケート調査、有識者意見聴取等の基礎調査を実施し、次期総合計画の在り方について検討を行った。</p>			
<p>[事業概要]</p> <p>令和6年度は、京都市総合計画審議会（仮称）を設置し、基礎調査の結果を踏まえ、様々な市民参加の手法も取り入れながら、次期総合計画の具体的な内容を検討していく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 審議会の設置・運営 京都市総合計画審議会を設置し、次期総合計画の具体的な内容を議論する。 2 市民参加の取組 <ol style="list-style-type: none"> (1) 若者チーム（仮称）の設置・運営 次代を担う若者が主体となるチームを設置し、審議会と連携して、次期総合計画の内容を検討する。また、計画の普及・定着につながる広報戦略を検討、実施する。 (2) ウェブ上で意見募集等を行う特設サイトの開設 ウェブ上に特設サイトを開設し、市内外の方々から、時間や場所の制約を受けずに、気軽に次期総合計画の策定に係る意見や提案等をいただく取組を実施する。また、計画策定に係る取組を広く発信し、策定経過の見える化を行う。 (3) 市外在住者へのアンケート調査 市外在住者に対して、京都のイメージ、魅力等を聞くアンケートを実施する。 			
<p>[参 考（他都市の状況・事業効果など）]</p> <p>直近における政令指定都市の動向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北九州市、熊本市は令和5年度に策定 ・神戸市は令和7年末までに策定予定 			